

飛翔

発行責任者
平塚MAC
池田忠宏



ひらつか市民活動センターのスタッフのみなさんから、平塚MACの創立二十周年記念誌に対して、心のこもった祝意のコメントをいただきましたので紹介します。

二十周年おめでとう



ひらつか市民活動
センタースタッフより

20周年おめでとうございませう。発足当時の様子、その後の歩み、メンバーの皆さんの寄稿を拝見し仲間づくりの大切さを改めて実感しました。このつながりの輪が未長く続きますよう、心から祈念いたします。センター長

★Hさん
平塚MACが創立二十周年という輝かしい年を迎えられ、ここに記念誌が発行されますことは誠に意義深く、心からお祝いを申し上げます。様々なジャンルの催し物を企画しそれを実行しているパワーには畏敬の念を禁じ得ません。

★Oさん
二十周年おめでとうございます。MACのみなさんは、いつも朗らかで、いつもみなさん楽しそうに活動されています。こちらも元気を頂戴しています。これからもたくさんのお仲間とともに楽しく元気に活動して下さい。応援しています。

★Iさん
二十周年おめでとうございます！。運営にはご苦労もおありだったと思います。が、イキイキ活動されている様子が伝わる素敵な記念誌を読ませていただきありがとうございます。また、発足の経緯、活動内容など、大変分かりやすいと思えます。男女共同参画をめざし、男性の意識改革をとという発足動機を知り感動しました。また楽しく活動されていることが、継続できる秘訣であると思いました。

★Yさん
二十周年おめでとうございます。二十年という長い時間、いろんな活動をみなさんが楽しみながらやられている姿を楽しく拝読させていただきます。今後ともますますのご活躍を祈念いたします。

★Sさん
二十周年おめでとうございます。楽しく有意義に過ごしたいシニアの方々には、是非お知らせしたい会と思えます。

★Tさん
二十周年おめでとうございませう。はじめて貴会のことや記念誌を知った方々にとって、とても分かりやすく、作られています。

★Kさん
おめでとうございませう。楽しい活動の様子が写真とともに伝わってきます。これまで、特に活動してなかった方々が会報を目にして興味を持ち、仲間になつて下さったらと思えました。

★Mさん
楽しく有意義に過ごしたシニアの方々には、是非お知らせしたい会と思えます。

★Sさん
二十周年おめでとうございませう。いくつかの都会に分かれていて、それぞれに活発に活動されていることがわかりました。活き活きとされていく魅力的な会なので、もっとシニアの方々に知れ渡るといいと思えました。

★Sさん
二十周年おめでとうございませう。いくつかの都会に分かれていて、それぞれに活発に活動されていることがわかりました。活き活きとされていく魅力的な会なので、もっとシニアの方々に知れ渡るといいと思えました。

平塚MACにとって 市民活動センターとは

平塚見附町にある「ひらつか市民活動センター」は、平塚MACの重要な活動拠点になっています。
平成十五年五月に市民活動センターがJビル内に設置されましたが、それまでは中央公民館を利用していました。又、機関紙「飛翔」の編集会議は駅前の喫茶店で開催し、コンビニでコピーをして会員宅に配布していました。活動センターができてからは、会議・印刷・会員への配布・備品の保管など総てが「ひらつか市民活動センター」で行なわれています。

当面のスケジュール

- 9月 7日 (月) パークゴルフの会
- 9月10日 (木) パソコン勉強会
- 9月14日 (月) パークゴルフの会
- 9月24日 (木) パソコン勉強会
- 9月の囲碁を楽しむ会 (金)
4日・11日・18日・25日



同好会的活動が二十年持つことは稀有だ 和氣あいあいを大切にさらに発展を

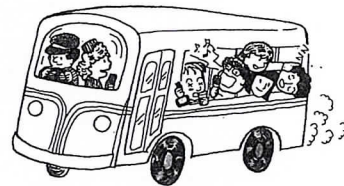
平塚MAC二十周年記念

活発と思う。

退会さ

号おめでとうございます。大変立派な本に仕上がっていますね。ご苦労さんです。今年も夏至が過ぎて、八幡宮の茅の輪ぐりの夏越えのお祓いも終り、七夕は中止で半年が終った。

平成十五年「男の講座」の内容も知らず受講し、半ばでMACの会に誘われた。同時に河越会長から事務局、負担が重かった。依頼され驚きでした。一年半ほどで歩く会と飛翔編集員の力スマリダが突然



今回は平塚MACが発足した頃から在籍されていた、中島さんと高橋さんに記念誌の印象や二十年の思い出などを寄稿していただきました。

MACで救われた老後生活

人生百年時代を示す活動

同好会的活動が二十年持つことは稀有だと思えます。どれもだけ人のいい人間ばかり集まっているのだろうか？。発足の時に生まれた孫が成人式です。残念ながらコロナ(悪魔のウイルス)のせいで式は中止になってしまいました。

米寿を思いがけないときを迎え、各会から「永らくご苦労さま、会費は免除です、役は御免となります」の言葉に一抹の寂しさを感じるのでした。いや未だMACがあると救われたものでした。

「飛翔」が届きました。こんなとき二十周年記念誌「飛翔」が届きました。退会後も多量の会に所属をし、「記念誌」は承知していましたが、



わしての交流は少なくなっています。本来の活動は

誌「飛翔」が届きました。

「飛翔」の出来栄は特筆です。

れたこと。歩く会では平成十八・十九・二十年と三年続けて会費一万円、交通費込み一泊二食付の旅行を何とかやり遂げたことです。一年目志賀高原、上高地、二年目東北松島蔵王、安達太良、三年目会津、大内宿、日光、残念ながらこの企画は無理でした。

会での余生を過ごすだけでなく、人生の輝ける現役時代に培った能力を生かした、人生百年時代の過ごし方を示してくれる活動内容ばかりでした。

掘部安兵衛が生まれたところでもあります。新発田での生活は小学校五年まで、その後、父の仕事の都合で平塚に住むようになりました。また私の就職先は金融系で、いわゆる転勤族で、東京を基点として大阪、香川、広島などに住んでおりました。



は平塚(公所)に戻り、今はゴルフ、囲碁、ウォーキング等でサnder

記念誌は平塚MAC設立から原理に始まり、「根拠・原点・公」との関係、そして将来を見据えた地元社

最後の全員に近い会員の入会後の感想は、人となりの確認、なにより親密感、同窓感を深めるものです。永久保存の記念誌です。編集さんありがとう。

MACに入会するきっかけは、囲碁仲間の江藤さんから「ゴルフのメンバーが足りないで出てくれないか」言われたことでした。

ひろば 四月に入会した渡邊稔です 出身は掘部安兵衛が生まれたところ

今年四月より加入させて頂きましたので、自己紹介を含め挨拶させて頂きます。

私の年齢は七十一歳(昭和二十三年)、出身地は新潟県新発田市(かの有名な

次号の発行日

次号の発行日は九月十七日(日)です。お楽しみに